

精密工学会 生産自動化専門委員会 研究発表会のご案内

生産自動化専門委員会に所属されていない方も有料で参加できます

【会告】「2015年11月(11月17日(火)開催) 研究発表会 内容」

生産自動化専門委員会委員長 大隅 久

(趣旨)

本研究発表会は、主テーマ「MEMSの技術動向と応用事例」として、MEMSの技術的発展の状況を歴史的経過を含め、現状の応用事例を取り上げ、今後の展開の可能性につき触れる下表のような構成としました。また、申込締切日までに参加申込された方には、東北大学マイクロシステム融合研究開発センターのご好意により、8月5日～7日に開催された『人材育成のためのMEMS集中コース in 豊橋』で作成された2,300画面以上を含むDVD-ROMを配付します。

11月研究発表会は、大橋康二氏(株ケーエスエス)の企画により実現しました。多くの皆様のご参加を期待いたします。

なお、研究発表会につき非会員の方も有料で参加できますので、委員各位の周囲の方にも参加のお勧めをしてください。

1. 日時：2015年11月17日(木) 10:00～15:20

2. 主題：「MEMSの技術動向と応用事例」

3. 講演題目

(0) 10:00～10:05 『MEMSの技術動向と応用事例』の研究発表会開催にあたり」

生産自動化専門委員会 委員長(中央大学 理工学部 教授) 大隅 久 氏

(1) 10:05～11:00 「MEMSのキーポイント」

東北大学 大学院工学研究科 バイオロボティクス専攻 教授 ^{たなか ひではる} 田中 秀治 氏

【講演概要】

基盤技術、応用ともに多岐に渡るMEMSに関して、理解、マーケティング、あるいは研究開発する上で外せないキーポイントを解説します。

参考HP：<http://www.mems.mech.tohoku.ac.jp/index.html>

(2) 11:00～11:50 「MEMS製造装置」

SPPテクノロジーズ株式会社 マーケティング部

マーケティングコミュニケーショングループ グループ長 ^{かなお ひろと} 金尾 寛人 氏

【講演概要】

MEMS製造に不可欠なSi深掘り装置について、6月で発売20周年を迎えたトップメーカーとして、英SPTSと蓄積した経験を紹介する。また、犠牲層エッチングや厚膜CVD、圧電薄膜スパッタ等の装置も紹介する。

参考HP：<http://www.spp-technologies.co.jp/>

----- (11:50～13:00休憩) -----

(3) 13:00～13:50 「MEMS 加工・試作・製造サービス」

株式会社メムス・コア ビジネス推進本部 常務取締役 本部長 慶光院 利映 氏

【講演概要】

メムス・コアは、宮城県仙台市の北部に位置し、MEMS特有の設備を有し、これらを駆使した柔軟な試作・開発を行っている。原理試作や開発レベルでの試作品を効率良く短期間に製作し、その後の製造も対応している。

参考HP : <http://www.mems-core.com/>

(4) 13:50～14:40 「オムロンの MEMS 技術」

オムロン株式会社 マイクロデバイス事業推進本部 営業推進部
戦略マーケティング課 高橋 敏幸 氏

【講演概要】

オムロンは機器の小型化・高性能化に貢献する MEMS 技術および製品を、20 年以上にわたり開発し、その量産の経験を積んできた。

本講演では開発から量産までの一貫した生産体制と生産技術を説明する。

----- (14:40～14:50休憩) -----

(5) 14:50～15:40 「産学協同研究による光 MEMS 実用化の事例紹介」

santec株式会社 光画像センシングビジネスユニット 諫本 圭史 氏

【講演概要】

santec(株)では2004年から大学との共同研究を開始し、光MEMSを用いた光ファイバ通信用部品や医療用光源などを製品化してまいりました。ベンチャー企業でのMEMS開発への取り組み方針や、最新の製品開発状況などをご紹介させていただきます。

(6) 15:40～16:30 「IoT 社会に不可欠なワイヤレス・センサーについて」

サイミックス株式会社 代表取締役 吉川 久男 氏

【講演概要】

IoTでは他用で数多くのセンサーからの情報を基に機能します。センサーはワイヤレスでなければならず、MEMS技術を使った小型のワイヤレスセンサーのニーズは高まってきています。

参考HP : <http://simics.co.jp>

(7) 16:30～17:20 「MEMS のトレンド」

東北大学 大学院工学研究科 バイオロボティクス専攻 教授 田中 秀治 氏

【講演概要】

IoT, 自動車の自動運転, 音声認識, 5G 通信など, 今後のメガトレンドにそって活発に研究開発が進む MEMS 技術を解説します。

参考 HP : <http://www.mems.mech.tohoku.ac.jp/index.html>

4. 参加費

生産自動化専門委員会会員の方の参加費

※参加費は法人委員、個人委員、特別委員、フェロー委員の年会費に含まれています。

参加費は不要です。

2015年11月9日（月）までに、出席連絡票に所定事項をご記入の上、事務局 岩佐まで E-mailまたはFAXにてご連絡をお願いいたします。

E-mail: seisanji@dk2.so-net.ne.jp、 FAX : 0797-52-1892

非会員の方の参加費

※生産自動化専門委員会会員でない非会員の方でも参加できます。

参加を希望される方は、非会員用の参加申込書にご記入の上、**2015年11月9日（月）**までに事務局 岩佐までE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

参加申込先 E-mail : seisanji@dk2.so-net.ne.jp、 FAX : 0797-52-1892

【参加費用】

精密工学会の会員の方 : 7,000 円／人（会員番号を明記ください）
自動化推進協会の会員の方 : 7,000 円／人（会員番号を明記ください）
超精密位置決め専門委員会委員の方 : 7,000 円／人
その他一般の方 : 10,000 円／人

★参加費には、当日の配布資料集、DVD-ROM（各 1 部）を含みます（昼食代は含まれていません）。

資料集のみ希望される場合は、研究発表会終了後、1 部 3,000 円で有償配布いたします。
参加申込書に明記ください。

【参加費の支払いについて】

★参加申し込みをされた方には、請求書を発送いたします。請求書が届きましたら、速やかに参加費を指定口座にお支払いください。

三菱東京 UFJ 銀行 神保町支店（店番号：013）0106813（普通）
名義人：社団法人精密工学会 生産自動化専門委員会

※ 振り込み手数料は、お支払い者側でご負担願います。

※ 振り込み受領証にて領収書に代えさせていただきます。

★その他、11 月 17 日研究発表会当日、会場で現金によるお支払いも可能です。

※ 当日現金によるお支払いの場合は参加費と引換えに領収書をお渡しいたします。

5. 場所：中央大学 理工学部（後楽園キャンパス）2 号館 2 階 2221号室（4 ページ参照）

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

Tel: 03-3817-1824（大隅研究室）、Fax: 03-3817-1820

6. 参加申込先／申込みについての問合せ先

参加申込書に所定事項をご記入の上、**2015年11月9日（月）**までにE-mail またはFAXでご提出ください（期限を過ぎると前刷集、DVD-ROMを当日お渡しができない場合もあります）。

参加申込先：事務局 岩佐礼子（E-mail : seisanji@dk2.so-net.ne.jp）

FAX : 0797-52-1892

7. 11月研究発表会についての問合せ先

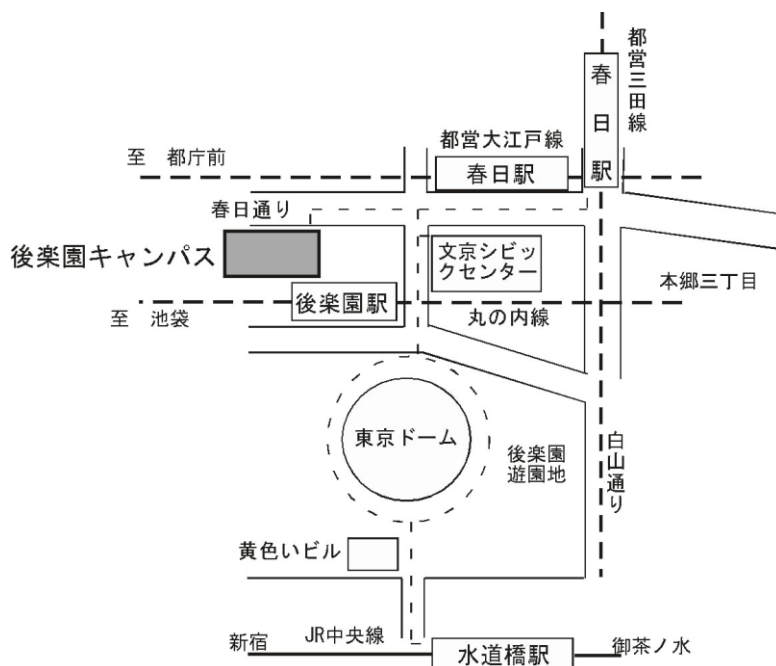
大橋 康二 (ケーエスエス株式会社)

E-mail : dzj02056@nifty.ne.jp

携帯電話 : 090-3082-6639

【交通】

- ・東京メトロ・丸の内線、南北線
「後楽園」駅下車 徒歩3分。
- ・都営地下鉄・大江戸線、三田線
「春日」下車 徒歩5分。
- ・JR 中央線
「水道橋」駅下車 徒歩15分。

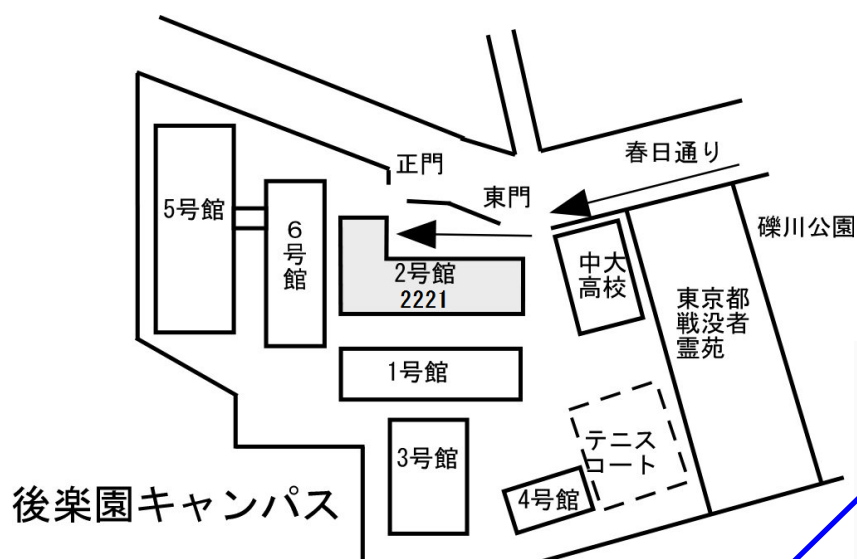


【理工学部2号館の位置】

春日通りの坂を上り、東門（守衛さんのいる門）から入ると右に見える新しい建物が2号館です。東門から階段を上って進むと、突き当りに2号館の入り口があります。入口右手側にエレベーターがあります（2号館の1階入り口、2階に会場の案内を掲示します）。

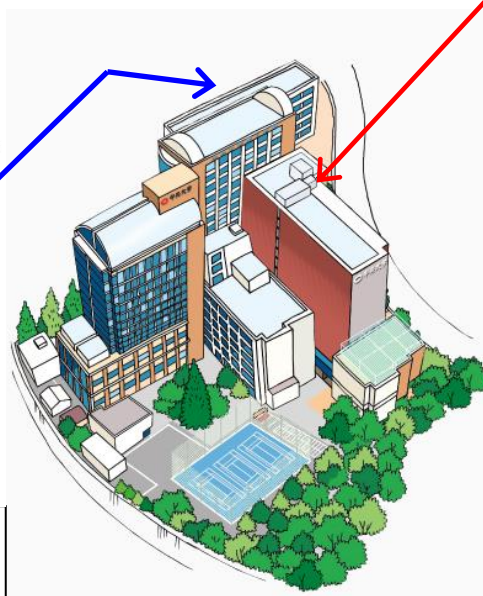
**会場は中央大学
理工学部2号館2階2221号室**

昼食場所
構内 5号館のB1に食堂があります



**研究発表会会場
2号館2階 2221号室**

**食堂
5号館 地下1階**



(右図：中央大学 後楽園キャンパスと2号館の案内図)

<http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/kourakuen/>